

今号に同封

全国保険医団体連合会は、全国歯科技工所アンケート結果(2016年)を基に「日本の歯科技工を守る」と題したパンフレットを発行した。歯科技工の大切さや歯科技工士の窮乏を紹介しながら改善を提言している。パンフレットは今号に同封している。

歯科医師と歯科技工士が力合わせ危機乗越えよう

保団連がパンフ発行

パンフは、歯科技工士の3人に一人が週81時間以上働く労働実態や3人に一人が可処分所得30



保団連が作成したパンフ『日本の歯科技工を守る』

0万円以下にある状況を紹介。歯科技工士の置かれた苦境の大本に、何十年にもわたって低く抑えられてきた歯科診療報酬にあることを指摘する。

そもそも、歯科技工の保険点数が労働時間などの原価計算に基づかない評価になっていることを批判し、その改善こそが

歯科技工危機の打開につながることを強調している。高齢化社会において、認知症の予防や嚥下障害

生涯講座 3月度研修

垂直型骨吸収に使用を

村上氏 リグロスの適応を解説



リグロスの注意点を説明する村上伸也氏(3月11日、M&Dホール)

臨床学術部は、「歯周組織再生材リグロスの薬理作用と適応」をテーマに生涯研修講座を3月11日、M&Dホールで開いた。開発者の村上伸也氏(大阪大学大学院歯学研究所教授)が講演し、150人が参加した。

2壁、3壁型の垂直型骨吸収に使用するのが望ましいと述べた。組織の再生は幹細胞の存在が不可欠であるため、骨の再生は隣在歯の歯槽骨頂付近で止まるといふ。一方で広範にわたる水平性の骨

吸収では大きな回復は望めないとのことだった。使用上の注意点として、①通常のFop後、骨欠損部にリグロスを注入するが入れすぎない②縫合は速やかに③ope後のブランクコントロール

を改善する上で、口腔機能を回復させる補綴物を製作する歯科技工士の社会的役割を高く評価。待遇改善の必要性を強調

し、技工問題解決のためには、歯科医師と歯科技工士が手を携えて、協力しようと呼びかけている。ぜひ、ご一読下さい。



石川たえ大阪府議(共産)は3月2日の府議会本会議で、協会の学校歯科治療調査を取り上げ、口腔崩壊問題の解決を迫った。要旨は次の通り。

大阪府議会

石川議員(共産)の質問要旨

口腔崩壊問題の解決を

多くの養護教諭が原因に「生活が苦しい状況」を指摘。学校歯科健診後の未受診生徒数も小学校で48・7%、中学校で71・8%にも上る。

だ。12歳の平均むし歯数が全国一少ない新潟県は、学校でフッ化物洗口を推奨することによって大幅にむし歯が減っている。学校歯科健診時にフッ素塗布を行う、または

かつ適正に行われるべきと考えている。石川 府内では、現在72病院・診療所が無料定額診療事業を行っている。しかし、制度そのものが知られていない。未受診

でもらえないか。向井 情報が必要な方全員に届くよう、就学援助事業を説明する際に合わせて紹介するなど効果的な対応を考えていく。石川 お金の心配なく病院にかかれるようにしていくために府として、医療費助成をせめて小学校卒業までに拡充できないか。就学前の子どもは市町村と協力して窓口負担を無償化してはどうか。

松井 一郎知事 乳幼児医療費助成については、平成27年度に再構築し、新子育て支援交付金を創設した。窓口負担の無償化は困難だ。

ルが重要——と説明。特微として、再生した歯周組織は既存セメント質とアンキローシスを起こさないと話した。

禁忌については、「口腔領域のガンの抗癌剤治療中や既往歴がある患者は、ガン細胞の増殖などの危険があるため使用しない」と強調。口腔内の潰瘍に使用するのも要注意とした。また、外傷歯、再植では結果が不明なので使わない方が良く、インプラント埋入時に利用することは考慮していないと述べた。

講演に先立ってリグロスを製造・販売する科研製薬の担当者から、当講習会が薬剤購入の条件を満たしていることや、購入のために必要な登録手続きの説明があった。(東住吉区・森啓)

禁止については、「口腔領域のガンの抗癌剤治療中や既往歴がある患者は、ガン細胞の増殖などの危険があるため使用しない」と強調。口腔内の潰瘍に使用するのも要注意とした。また、外傷歯、再植では結果が不明なので使わない方が良く、インプラント埋入時に利用することは考慮していないと述べた。

「クイズは初めて知る事ばかりでもと勉強になった。保険でよい歯科署名も、憲法を守り生か合子さん。」

保団連が取り組んだ「クイズで考える私たちの医療」は、協会での4256通の、全国では6万4123通の応募があった。協会の当選者は、2等の被災地復興カテゴリーが7人のほか、3等13人、4等33人の計53人が当選した(写真)。

クイズで考える医療 当選者が喜びの声



マルメにある非暴力・平和の象徴である先が結ばれた銃と、それを模して予防の象徴として作られた先が結ばれたパー。マルメ大学歯学部カリオロジー講座のダン・エリクソン教授の考案である

マルメにある非暴力・平和の象徴である先が結ばれた銃と、それを模して予防の象徴として作られた先が結ばれたパー。マルメ大学歯学部カリオロジー講座のダン・エリクソン教授の考案である

北欧の歯科医療最前線

北欧の歯科医療に共通している課題は、まず健康格差である。スウェーデンの移民の割合は全人口の約20%で、スウェーデン生まれの人たちに比べて、もともと口腔内の健康状態が悪く、また、収入や言語の問題から予防管理が届きにくい。小児齲蝕の二極化は1990年代から大きな問題として捉えられていたが、いまだに解決できていないことから、今後も続く課題だろう。

次に、若年者の歯科離れが問題視されている。第8回に述べたように、無料の歯科医療サービスが受けられていた年齢を過ぎると、口腔内に問題がないのに、急に歯科医療費が高くなることから10~20%の若年者が未来院である。彼らを動機づけることもそれほど簡単ではない。

フッ化ジアンミン 銀への期待

高齢者の口腔ケアは、日本より

北欧の歯科医療の今後の課題は、まず健康格差である。スウェーデンの移民の割合は全人口の約20%で、スウェーデン生まれの人たちに比べて、もともと口腔内の健康状態が悪く、また、収入や言語の問題から予防管理が届きにくい。小児齲蝕の二極化は1990年代から大きな問題として捉えられていたが、いまだに解決できていないことから、今後も続く課題だろう。

「最先端のむし歯・歯周病予防を要求する会」理事長 アイランド・コーク大学 西 真紀子 NPO法人

(終わり)